

東海道終点

京、ぎょう
 逢坂山を越えればまもなく京都市
 長かつた旅路もここで終わり
 三條大橋についたら
 ます乾杯。



東海道
 五拾三次
 大尾
 京師
 三條大橋
 藤重画



東海道五十三次の終点、
 三條大橋。木の欄干や擬宝珠
 が美しい。この橋は、広重に描
 かれた姿にそっくりである。
 花の都らしく、広重の絵の中
 でも、橋の向こうに、びっしりと
 家々が描かれている。
 現在も建物が立ち並んでいる。
 橋の東南端にあった高山
 彦九郎銅像も、三條駅の東に
 移された。橋の西南に、地元商
 店会が近年建てた、かわい
 人形風の、弥次喜多像がかか
 くて東海道をしのばせる。



京都には寺社・旧蹟が数多い。
 三條大橋の約一、五キロ東には、山門や庭園・襖絵などが
 見ものの南禅寺。日本最大の山門をはじめ、広大な健物が
 守らぶ知恩院。平安神宮。初参りでにぎわう八坂神
 社など、東山一帯にも名所が多い。

・名物のうまきもの。
 京みやげとして根強い人気があるのは、五色豆、八ッ橋
 生八橋、味噌、松風、干菓子、守り茶、ゆば、京昆布、
 漬り物、七味とうがらし。
 ・見どころ。琵琶湖疏水。用水、水運などのために琵琶湖
 から引かれた水路で、明治期の大土木工事であった。
 三條大橋では、人を出迎える時には、橋の西詰め、見送る時には
 東詰めで、なつたという。
 五十三次の道中もここで終わり、ます乾杯しよう。